

勝利へ！ 春闘 三里塚 反合・生活防衛・反処分



81.4.13
No. 714

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六(公衆)三三三二・七二〇七

政府・日経連の賃上げ抑制攻撃に抗し 交通ゼネスト貫徹を

勤労千葉は、三月三〇日開催した第三回定期委員会で、今次八一春闘をめぐる情勢、闘いの基本的目標と闘いの進め方を全体で確認してきた。そして三月ジェット決戦ストでかちえた成果にふまえて、八一春闘を「反処分・生活防衛・反合・三里塚春闘」と位置付け、県春闘共闘会議などの主催する諸集會・宣伝行動を積極的に担い闘いぬいてきている。

賃金要求についても、第五回臨時大会決定にもとづき、「一九八一年度賃金引き上げ要求」申し入れを行い、交渉の強化をもって闘い抜いているが、国鉄当局は今日に至るも有額回答すら示さないという不誠実な態度である。「ストなし春闘」を策す、政府・支配階級、これに迎合する一部労組指導部に激しい怒りをたたきつけ、官民分断攻撃を打破し、大巾賃上げ獲得を闘いとおこななければならぬ。

三公社五現業への超低額回答策動を許すな

政府は、公共料金をはじめ、矢つぎ早やに上がる物価動向に対し昨年一二月消費者物価上昇見通しを七%に修正した。しかし現実はそのを上廻りわれわれの生活は一段ときびしくなっている。

国鉄運賃値上げ九・七%という断じて許せない攻撃をはじめ増税等々によって労働者の実質賃金は年々低下する一方にあり、「生活が苦しい」と訴えるものは、全体の八〇%にも達していることが、昨年勤労千葉が実施した賃金要求アンケートの中でも明らかになっている。

八一春闘もいよいよヤマ場になり、四月九日鉄鋼・金属労協への一斉回答、翌一〇日には私鉄に対し一万四千元(七・五%)という低額回答が示されてきている。

鉄の一発回答に対し、金属労協宮田議長は、「なんとか実質賃金が確保された」と評価を示すなどという、まさに政府・日経連の企図する「生産性に見合った賃金」賃金抑制政策に屈服するものである。

一方私鉄は回答額を不満としてひきつづき闘いを継続している。

三公社五現業については、春闘前半の焦点になつてきている中で、藤尾労相は、一〇日の閣議において一五日以降回答を示すことを明らかにしているが、超低額回答に終始することは必至の情勢にある。

官民分断を許さず、地域春闘の強化・拡大をかちとろう！

われわれは歴史的な三月ジェット決戦ストを勝

利的に闘い抜き、大量報復処分攻撃に対し、反処分闘争を継続し、それと結合して八一春闘勝利をめざす闘いを展開している。われわれは「ストなし春闘」策動を許さず、春闘の戦線的再構築に向け、官民分断攻撃を打破し、民間・中小労働者との交流・連帯さらには三里塚を軸とした全国住民運動との日常的な連帯行動をおして地域春闘の強化・拡大をつくり出していかねばならない。

全組合員のみなさん！

政府・国鉄当局の低賃金抑制攻撃粉碎・低額回答打破、要求額獲得をめざし、八一春闘の最大のヤマ場を私鉄を含む交通共闘・公労協・公務員共闘の仲間とともに、四月決戦ストを総力をあげて闘い抜いてゆこうではないか。

米麦、国鉄に国民年金

—— 便乗心配へアも追いつかず

うすら寒く、四月がスタートした。お米やはがき料、国民年金保険料が一日から上がり、二十日は国鉄運賃の値上げが待っている。家計にも寒い風が吹きかよって、お米やはがき料、国民年金保険料、国鉄運賃の値上げが待っている。家計にも寒い風が吹きかよって、お米やはがき料、国民年金保険料、国鉄運賃の値上げが待っている。

アップアップ4月

消費者米価	2.15% 値上げ	4/1 (3年連続)
小麦価	5.3%	4/1 (2年連続)
国鉄運賃	平均 9.7%	4/20 (4年連続)
国民年金保険料	(月額) 3,770円 → 4,500円	4月より
はがき	すてF. 20円 → 30円 更上. 30円 → 40円	(2/10より新) (更上. 4/1より)
塩	32.3% (予定)	5/1より